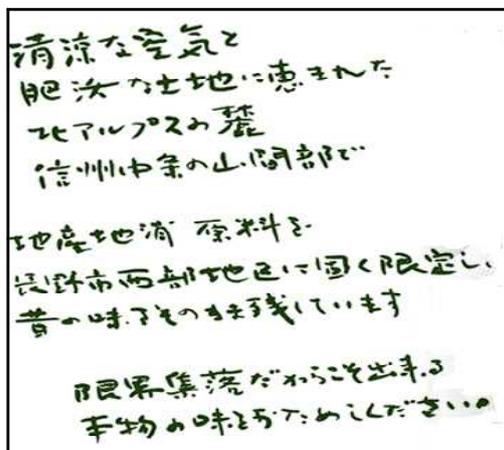




常磐林夫・純子夫妻

常磐林夫（しげお）さん、このお名前を覚えていませんか。そうです、今年の5月25日、靖国神社の永代神楽祭の時に家族5人で参加され、直会では遺族代表として、大きな声で、信州弁で木訥と挨拶をされました。林夫さんは、昭和20年4月7日振武台の空襲で戦死された祭神常磐嘉夫君（9-6）の実弟です。信州の山の中で細々と農業をしておられるとのことでした。



常磐さんのアピール

ところが、たまたまインターネットの長野県魅力発信ブログで常磐林夫さんの名前を見つけました。ブログでは、夫婦2人で「限界集落一番」というブランドで、地産地消の商品を開発し、販売しておりますが、2008年6月、最初は味噌からスタートしました。

今は30商品位あります。「糶十割味噌」や漬け物、りんごジュースなど、全て限定というか、沢山作るのではなく、作れる分作って、原料が無くなれば「終わりました」としています。保存料や添加物、合成着色剤等一切使いません。かき餅もばあさんが一人で50俵分のお餅をついています。きび、えごま、赤もろこし、白いお餅の4種類、それもみんな中条の農家と契約して栽培して作っています。だから、ここで作っているものはみんな「戸籍」があるんです。

百姓は生産技術があっても販売技術があまりない。自分のところさえ売ればよい、販売所全体の売り上げなど余り考えない。販売所全体が売れるようにするにはどうしたらよいか。そういうことは勉強して学ぶべきなんですよ。その道に入った以上、死ぬまでやらなければならないと思います。勉強することが多くて、でも勉強は楽しいです。とって大学の講義を聴きに松本まで行ったり、県の講演に参加して勉強しています。「その道に入った以上、一生勉強しなければ」をモットーとして。

早速、漬け物や焼き芋等7品目を注文してみました。何れも200g入りで200円～350円位の手頃な値段です。

FAXで注文すると2～3日で届きます。

まず、白瓜の粕漬けを試食してみました。いかにも田舎の粕漬けらしく、深みのある味がして、晩酌のつまみにはもってこいです。インターネットで限界集落一番で検索すると商品の一覧表が出てきます。商品の問い合わせは：

電話は 026-268-3821
FAXは026-267-1088です。

近いうちに、インターネットでの販売を
考えているとのこと。是非、お試しに注文
されることをお奨めします。

それから、常盤さんが直会の席上で紹介
された孫娘の青柳京古(きょうこ)さん。
上尾市のバレーの選手と云うことでした
が、青柳さんもなかなかの有名人で、プロ
グの人気度はNo.1。今年、愛知学院大学
を卒業し、埼玉の上尾中央総合病院に勤務
していますが、実業団の上尾メディックス
の登録選手として活躍している。

上尾メディックスは2012/13チャレン
ジリーグで優勝し、今年に入りチャレンジ
マッチで2戦2勝し、プレミアムリーグへ
の昇格が決まった強豪チームである。

特に埼玉在住の方、是非、青柳京古さん
を応援してください。(川島 順 記)

青
柳
京
古
選
手
・
背
番
号
11

